

第16期中間

株主通信

2012年4月1日 ▶ 2012年9月30日

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社 証券コード：9422



P.1 ひと目でわかるITCN

～パナソニック テレコム（株）と合併しました～

P.2 トップインタビュー

寺本社長に聞く！

アイ・ティー・シーネットワーク

ITCNのビジョン

P.5 IRコミュニケーション

株主の皆様の疑問にお答えします

P.7 会社情報／株式情報



ITC Networks

ひと目でわかるITCN

2012年10月1日 パナソニック テレコム(株)と合併しました

合併の経緯や意図については
P.2をご覧ください。

販売台数

331万台

(2012年3月期実績)

業界
第**2**位

従業員数

4,650名

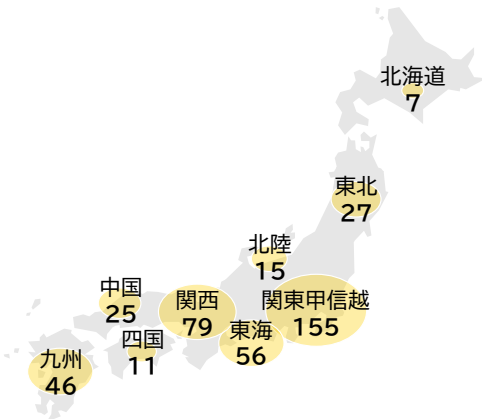
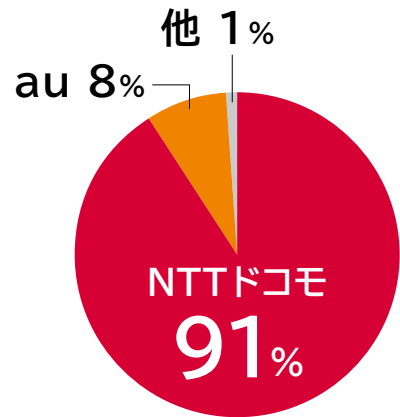
キャリア認定ショップ網

421店舗

ドコモショップ
運営店舗数

業界
第**1**位

通信キャリア別販売比率



2013年3月期 通期業績予想

詳細は P.3をご覧ください。

売上高

2,000億円 前期比 **55.4%**増

営業利益

62億円 前期比 **25.9%**増

経常利益

62億円 前期比 **24.1%**増

当期純利益

32億円 前期比 **41.0%**増

※ 2013年3月期の通期業績予想にはパナソニック テレコム(株)の下期予想が合算されています。

トップインタビュー

寺本社長に聞く!

アイ・ティー・シーネットワーク

ITCNのビジョン

第16期も半期が過ぎ、10月1日にはパナソニック テレコム株式会社（以下、PT社）との合併も滞りなく完了いたしました。株主の皆様のご理解とご支援に、厚く御礼申し上げます。

今後は早期に統合シナジーを創出し、業界のリーディングカンパニーの一社として、さらに企業価値を高めてまいります。

本日は、合併、そしてこれからのITCNについて、私が質問にお答えします。

代表取締役社長

寺本 一三



Q ▶▶▶ PT社との合併に至った経緯や意図についてお聞かせください。

A ▶▶▶ リーディングカンパニーとしての地位確立に向け、最高のパートナーと合併することができました。

スマートフォン ④ 人気で足許の端末販売市場は活況ですが、通信キャリア間競争は一層激化しており、当社をはじめとする販売代理店を取り巻く環境も中期的には厳しくなることが予想されます。

こうした見通しのもと、ビジネスモデルの変化にも対応できるように、少なくとも業界3強の一角を占める事業規模を確保することが喫緊の経営課題だと認識していました。また、

規模をいわずらに追求するだけではなく、質にも大いにこだわりたいという思いがありました。

PT社と当社は、**人が原点であり現場が第一である**という共通の価値観を持っていました。加えて、当社は首都圏に強く、PT社は関西地域をはじめその他地域に強いことから、**まさに最適な補完関係**にあり、PT社こそがベストパートナーであると確信し、今回の合併の運びとなりました。

カンタン
用語解説

スマートフォン: 多機能携帯電話。従来の携帯端末にパソコンの要素を多く取り入れ、音声通話以外にもデータ通信機能が充実している。画面が大きいという特徴があり、ボタンではなく直接画面に触れて操作する。

Q ▶▶▶ 合併発表から7ヵ月が経ちましたが、これまでの手応えをお聞かせください。

A ▶▶▶ **個々人の活躍の場が広がり、これまで以上にES（従業員満足度）が高まっていると感じています。**

株主総会決議後の7月から全国のショップや支社に精力的に足を運んでいて、約250ある旧PT社の現場のうち既に半数近くを訪ねました。

現場の多くの皆さんと接するなかで、特に感じているのはESの高まりです。人事制度改正によってキャリアプランがより描きやすくなったとの声を聞いたり、個々人の活躍の場が広がって現場の士気が上がっているのを実感したりしています。採用に関わる社員からは、

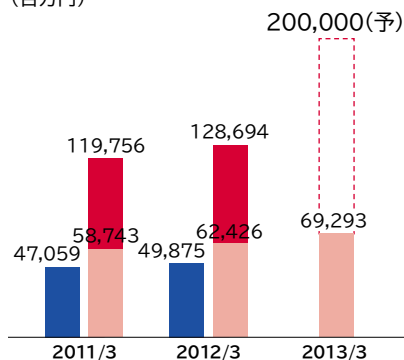
優秀な人材の応募が格段に増えたという話もありました。もともと業界が同じで企業風土が似通っているせいか、旧PT社出身の皆さんと話しても、お互いに「初めて会った感じがしない」と感じる事が多く、合併に対する抵抗感も比較的少ない印象です。

また、株主の皆様や取引先企業の皆様からは多くの温かいご声援をいただいております。それが社員の士気を一層高めています。

当第2四半期 決算のポイント

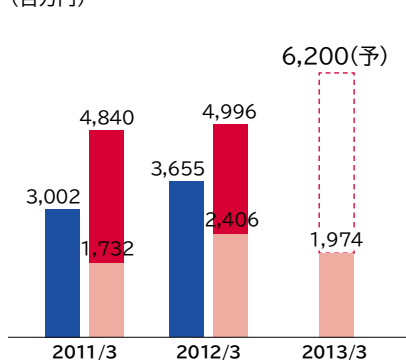
1. スマートフォン需要が好調に推移し、販売台数は前年同期比1.2%増の89万台と伸長。
2. 商品単価や高価格帯商品構成比の上昇により、売上高は前年同期比11.0%増。
3. 手数料収入の減少や営業関連費用の増加、店舗の移転・改装費用等の発生により減益。

売上高
(百万円)



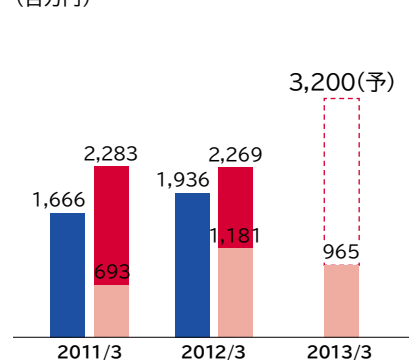
■ PT / 通期
■ ITCN / 第2四半期
■ ITCN / 通期

経常利益
(百万円)



■ PT / 通期
■ ITCN / 第2四半期
■ ITCN / 通期

当期純利益
(百万円)



■ PT / 通期
■ ITCN / 第2四半期
■ ITCN / 通期

※ PT社の会計基準（2012年3月期まで）は当社と異なります。

Q ▶▶▶ 10月1日の合併により新たなスタートとなりましたが、下期の取り組みについてお聞かせください。

A ▶▶▶ 下期最大の課題は組織の基礎固めです。融合推進委員会を設置し、2社の「融合」を推進し、早期にシナジーを創出していきます。

統合シナジーの最大化に向け、下期は「融合」がキーワードとなります。当面は規模の拡大よりも、社内におけるあらゆる質の向上に専念する考えです。その一環として、合併直後にまず「融合推進委員会」を設置しました。本委員会では、①新社名・企業理念・ビジョン

の策定、②組織・人事に関する方針決定、③シナジー効果最大化という3つの課題に取り組みます。体制面でも、収益面でも、両社の強みを上手く取り入れながら、「融合」を進め、早期にシナジーを創出できる体制を構築します。

Q ▶▶▶ ITCNの中長期的なビジョン（目指すべき姿）をお聞かせください。

A ▶▶▶ ESでもCS（お客様満足度）でも抜きん出た存在として、業界の範となる企業を目指します。

近年、スマートフォン等の商品は、多機能化や高機能化が進んでおり、お客様との接点となるスタッフには、より広範な商品知識ときめ細かい説明スキルが求められています。

それゆえ、優秀な人材をいかに採用し、そして教育・育成を通じていかに定着させるかが、この業界で勝ち残るうえで極めて重要であると考えています。

「ESなくしてCSなし」という考えのもと、ESでもCSでも業界で抜きん出た存在となる

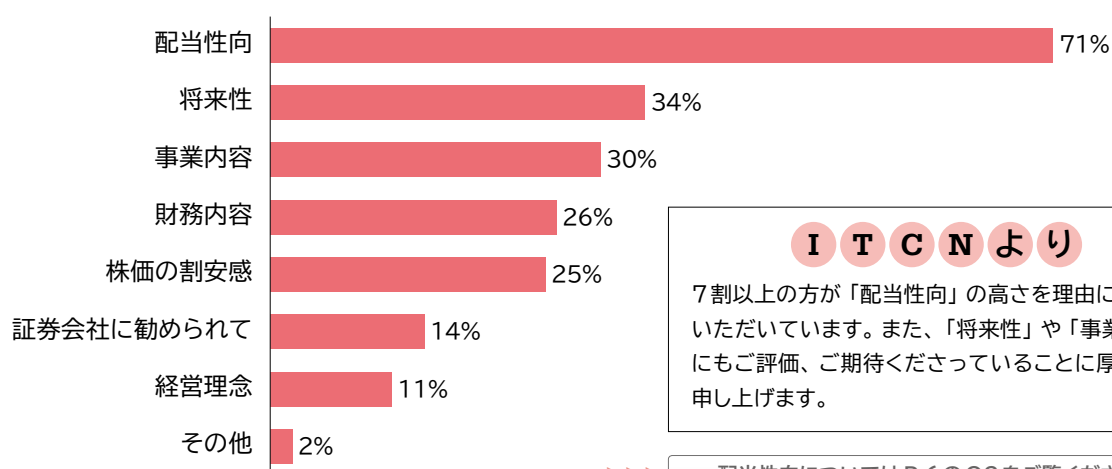
ことが当社の目指す将来像です。私たちは、全社一丸となってあらゆる課題に果敢に立ち向かい、業界の範となる企業を目指してまいります。今後の飛躍にどうぞご期待ください。



株主様アンケート 結果のご報告

第15期株主通信にて実施した「株主様アンケート」にご協力いただきまして、深く御礼申し上げます。ここに、アンケート結果の一部をご報告させていただきます。

Q 当社の株式を買い付けされた理由は何でしょうか？（複数回答）

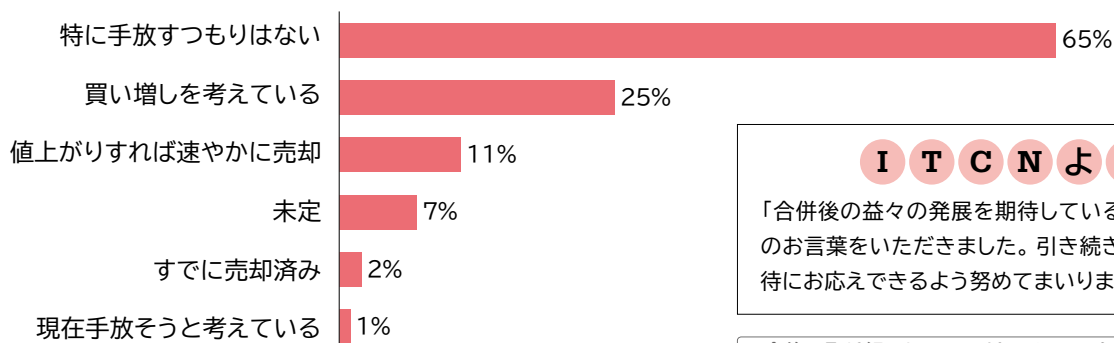


ITCNより

7割以上の方が「配当性向」の高さを理由にご購入いただいています。また、「将来性」や「事業内容」にもご評価、ご期待くださっていることに厚く御礼申し上げます。

▶▶▶ 配当性向についてはP.6のQ2をご覧ください。

Q 今後のITCN株についてはどのようにお考えですか？



ITCNより

「合併後の益々の発展を期待している」という激励のお言葉をいただきました。引き続き、皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいります。

▶▶▶ 今後の取り組みについてはP.2～4をご覧ください。

IRメール配信サービスを提供しています

投資家の皆様にタイムリーに開示情報をご提供するために、最新のニュースリリースやホームページの更新情報等を、あらかじめご登録いただいた電子メールアドレスに配信しています。



株主の皆様への疑問にお答えします

このコーナーでは株主様アンケートなどで寄せられた、株主の皆様の率直な疑問にお答えします。ぜひ、今後とも皆様の声をお聞かせください。



Q1 合併後の社名は何になるのですか？

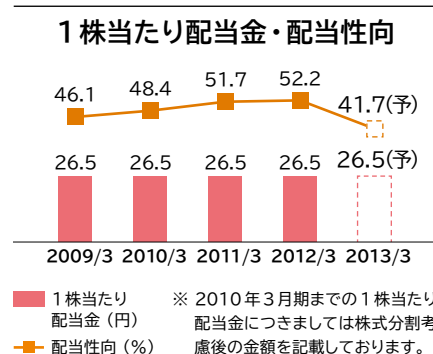
現在、新しい社名を社内で検討中です。

最終的に2013年6月の定時株主総会で株主の皆様にご承認いただく予定です。

Q2 アイ・ティー・シーネットワークの株主還元方針は配当性向40%超とのことですが、よく分かりません。

税引き後の最終利益（当期純利益）の40%以上を配当金としてお支払いするということです。

当社は、每期順調に利益還元が行えるように業績の安定成長に努めています。



Q3 最近、ニュースなどでLTEという言葉を目にします。LTEってどのようなものですか？

LTE (Long Term Evolution) とは、**今までのデータ通信をさらに高速化した通信回線**のことです。LTEに対応したスマートフォンでは、インターネットが速く表示されたり、動画がスムーズに再生されるなど、**より快適にご利用**いただけるようになります。

IRメール配信サービスのご登録は

 <http://www.itcnetwork.co.jp/ir/irmail/>

投資家情報



IRメール配信

会社情報 (2012年10月1日現在)

会社概要

商号	アイ・ティー・シーネットワーク株式会社 ITC NETWORKS CORPORATION
本社所在地	〒150-6026 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー 26F
設立	1997年8月
資本金	2,778,442,500円
従業員数	4,650名
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

役員

*社外取締役 **社外監査役

代表取締役社長	寺本 一三	常務執行役員	中田 伸治
取締役副社長 執行役員	井上 裕雄	常務執行役員	石井 彰
取締役副社長 執行役員	佐藤 正人	常務執行役員	井上 正大
取締役専務執行役員	金子 信幸	常務執行役員	目時 利一郎
取締役常務執行役員	村田 充	常務執行役員	保坂 卓二
取締役	新宮 達史*	常務執行役員	小日向 光男
取締役	安藤 一郎*	常務執行役員	釜山 英一
常勤監査役	柴田 信治	執行役員	渡辺 元
監査役	遠藤 隆**	執行役員	古島 史隆
監査役	阿部 紘武**	執行役員	羽山 孝弘
監査役	坂井 和信**	執行役員	田中 常弘
常務執行役員	大澤 雅弘	執行役員	森下 大二郎
常務執行役員	松本 博		

株式情報 (2012年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	153,600,000株
発行済株式総数	44,738,400株
株主数	5,886名

(注記)

※ 2012年10月1日付のパナソニック テレコム株式会社との合併により、新たに11,184,600株を発行し、発行済株式総数は55,923,000株となりました。これにより同日付でパナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社が、当社株式の20.00%を保有する株主となりました。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	26,996,000	60.34
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	2,418,600	5.41
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS 613	1,168,200	2.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,139,000	2.55
ITCネットワーク社員持株会	569,581	1.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	565,100	1.26
資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金信託口)	353,600	0.79
株式会社光通信	340,700	0.76
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	271,700	0.61
株式会社南日本銀行	238,400	0.53

株主メモ

事業年度： 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会： 毎年6月開催
 基準日： 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) ☎ 0120-176-417

※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。
 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) ☎ 0120-782-031

証券コード： 9422
 公告方法： 電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 (公告掲載URL) <http://www.itcnetwork.co.jp/reports.html>

諸手続きに関するご案内

- ▶ 住所などの変更手続きについて
住所、氏名、配当金振込口座等の変更は、お取引の証券会社にお申し出ください。
- ▶ 未受領の配当金について
未受領の配当金は三井住友信託銀行にお申し出ください。

本株主通信に関するお問い合わせ先

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
 経営企画部IR課
 03-5739-3702 (9:30 ~ 18:00)

